

市政懇談会の現状について

質問(益子岩夫議員)市政懇談会の現状について伺います。

答弁(市長)市政懇談会は、広聴事業の一環として毎年開催されておりまして、広く地域の声に耳を傾け、市政に反映することを目的に三十年以上継続している事業であります。

市内全十地区の皆様方からの市政に対するご意見やご要望、あるいはご質問などを事前に取りまとめ、当日それぞれの地区で回答を申し上げる形式で進めて



再開発ビルの予定地

おりまして、本年度はご意見、ご要望など八十件が寄せられております。内容につきましては、道路河川関係が四十一件と半数以上を占めておりまして、公共施設関係九件、交通安全関係八件と続いております。それらにつきましては、地域の皆様方の切なるご要望と受けとめておりますが、厳しい財政状況の中、限られた予算で応えできなかつたのが現状であります。

中心街地活性化事業見直しについて

質問(引地達雄議員)中心市街地活性化事業の見直しの進捗状況について伺います。

答弁(市長)事業の見直しにつきましては、費用対効果、ランニングコストの問題などの財政面や、関係者や市民からの声を市政に反映することを考慮した結果、現時点におきましては再開発ビルの縮小と立体駐車場の場所の変更並びに山の手一丁目地区沿道整備街路事業の中止に向けた協議を進めているところであります。

す。

再開発ビルにつきましては、当初十三階を計画しておりましたが、展望レストラン、美術館、市営住宅等の施設を取りやめ、身の丈に合った計画として一階にキーテナントを含む商業施設、二階に一部商業施設を含む公共公益施設、三階に公共公益施設、四階に図書館、五階以上を権利者住宅と分譲住宅として七階程度とすることで、再開発組合との調整を図っているところであります。

また、再開発ビルの縮小に関連し、栃木銀行大田原支店わきで計画しておりました山の手一丁目地区の沿道整備街路事業を中止し、立体駐車場の場所を変更する方向で関係地権者との協議を進めているところでもあります。いずれにいたしましても事業の推進には地域住民及び商業関係者等の積極的な参画、そして商工会議所、中心市街地活性化協議会、大田原まちづくりカンパニーとの連携が不可欠となりますので、関係者の理解はもとより、市政会議員の皆様方のご理解をいただきながら事業を進めてまいりたいと考えているところでございます。

私も市長として初めて市政懇談会に出席をさせていただきました。どうも行政と地域の皆様方との意見の食い違いが市政懇談会にあらわれていて、その優しさ、親しみさというものがなかつたようだというようなご意見もありました。

現状の伝達が主となっている内容や実施方法について、今後は、いろいろな面で見直しをかけながら、市政懇談会に対するさまざまなご意見を生かせるようなそういうといった市政懇談会に進めていきたいという考え方を持っております。



市内全10地区で開催されています